

モーリスとは？

モーリス生成過程

モーリスの原材料は、人体に安全とされている厚生労働省認可の食品添加物と水のみで生成されています。水道水やプールの除菌にも使われている【次亜塩素酸ナトリウム】と【希塩酸】そして【水】、これらを希釈混合することで生まれた“**次亜塩素酸(HOCl)**”を主成分とする弱酸性の除菌消臭水です。



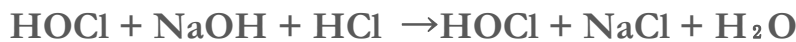
Step1. 希釈 一次亜塩素酸ナトリウムを水で希釈



(次亜塩素酸ナトリウム+水 → 次亜塩素酸+水酸化ナトリウム)

Step2. pH 調整 希釈したままだとアルカリ性

希塩酸で pH 調整して弱酸性領域へ



(次亜塩素酸+水酸化ナトリウム+塩酸→次亜塩素酸+塩化ナトリウム+水)

アルカリ性

中和し弱酸性に生成

弱酸性

モーリスは、「まぜるな危険」でおなじみの除菌漂白剤の主原料である、強アルカリ性次亜塩素酸ナトリウムに酸性の希塩酸を加えることで中和し、弱酸性領域に安定しました。手肌にやさしいだけではなく、弱酸性に安定することにより除菌消臭効果の高い次亜塩素酸分子(HOCl)を80%以上含み、短時間ですばやく除菌消臭を行うことができます。さらに、モーリスは効果を発揮すると水に還元される(水に戻る)性質があり、これは成分がほとんど残留しないことを意味し、水同様に金属に対する腐食性も極めて低いと言われています。また、モーリスの主成分である次亜塩素酸は生体内で細菌等の異物を分解する免疫物質としても活躍していることや、動物を使用した安全性試験結果からも強力かつ安全な成分であることが実証されています。

まとめ
知識

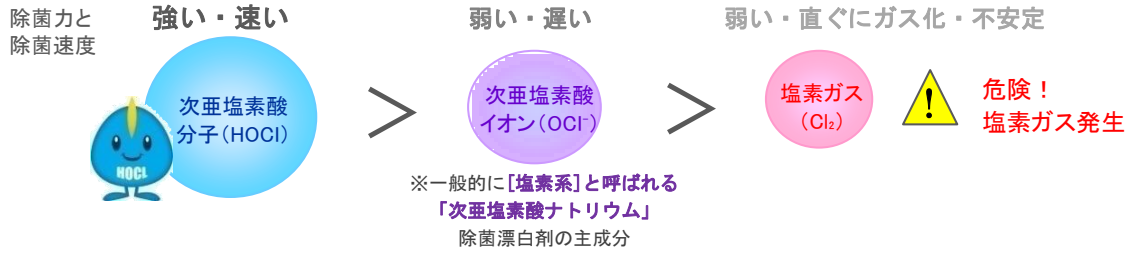
「塩素系」

よく「塩素系」と耳にしますが、それは塩素を水に溶かしてできる成分のことを指します。その成分は次の4つに変化します。

塩素ガス・次亜塩素酸分子・次亜塩素酸イオン・塩素イオン

上記の成分の中で塩素イオンを除く3つが除菌効果を持つ成分で、これを**遊離有効塩素**と言います。* 遊離有効塩素=殺菌や酸化反応に有効に作用し得る塩素化合物のこと。

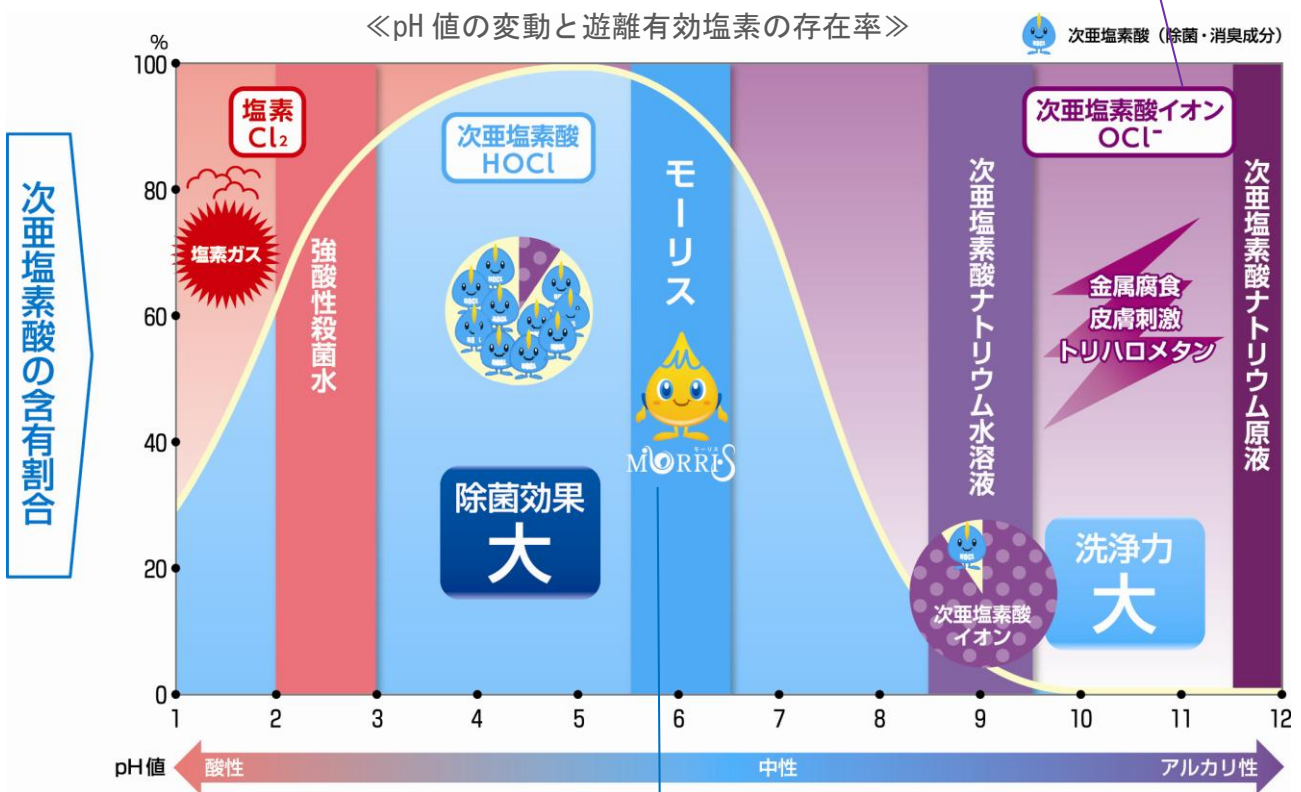
【塩素成分（遊離有効塩素）の除菌力比較】



除菌力は、次亜塩素酸分子が速く且つ強く（即効性）、次亜塩素酸イオンは著しく弱い（遅効性）。

また、これら成分は酸性・中性・アルカリ性に分類される pH 値（水素イオンがどれだけはいっているかを示す数値）によって存在比が変化するのが特徴で、図 1 から分るように除菌力の強い次亜塩素酸分子は弱酸性～中性領域に一番多くなるのが分ります。

現在主流である次亜塩素酸ナトリウムを主原料とする除菌漂白剤は、洗浄力と漂白力が非常に高いですが、遅効性の次亜塩素酸イオン(OCl⁻)を多く含む液性で、除菌力が弱く除菌速度も緩やかで、さらにアルカリ性領域でトリハロメタンの生成や金属腐食性など、取り扱いにはいくつかの注意が必要です。



[図 1]

モーリスは、一番即効性があり除菌力が強い次亜塩素酸分子（HOCl）を、80%以上含む弱酸性領域に調整して生成しています。モーリスの弱酸性は手肌に優しいだけではなく、次亜塩素酸水の除菌力を最大限に発揮できる領域でもあるのです。